

審査評価項目

審査対象	審査項目	No.	提案書作成（業務実施）における注意点	審査ポイント	配点
企画提案書／デモンストレーション動画／プレゼンテーション等	提案事項を実施するにあたっての取組方針	1	理解度 本市の情報化並びに学校施設の予約管理に関する現状及び課題と今後の取組み方針を理解したうえで、本市に提案を行うこと。	・調達仕様書等の内容を踏まえて本市の現状及び課題と今後の取組み方針を正しく理解しているか ・課題解決に向けた着眼点は適切か	50
		2	課題解決度 本市の情報化並びに学校施設の予約管理に関する現状及び課題と今後の取組み方針を理解したうえで、本市が抱える課題に対する改善策を具体的に示すこと。	・システムの将来像を踏まえ、本市が抱える課題を効率的・効果的に解決できる具体的な提案となっているか （できる限りペーパーレス化を図る工夫などにより利便性の向上をはかるものになっているか）	100
		3		・システムの将来像を踏まえ、本市が抱える課題を効率的・効果的に解決できる具体的な提案となっているか （運営委員会や包括事業管理者が各利用団体のスケジュールを確認するスマホ画面の視認性の高さなど利用予定の見える化に寄与する提案か）	100
		4		・本市が抱える課題を積極的に解決できる提案となっているか、しようとする意欲が感じられるか。	50
	業務の実施におけるポイント	5	スケジュール システム構築（設計やテスト等）に関するスケジュールについて、これまでの経験やノウハウを活かしてを工程ごとに具体的に示すこと。	・これまでの経験やノウハウを活かし、本業務を確実に実施できる作業工程及び日程となっているか ・開発期・運用準備期・本稼働期において必要な各作業項目を含め、構築全体スケジュールが提示されているか ・リスクがあるポイントが明確になっており、その対応策が現実的なものとなっているか	50
		6	役割分担 システム構築（設計やテスト等）やシステム運用保守で実施する作業において、本市担当職員や学校職員、運営委員会委員、利用団体等の負荷（システム利用の慣熟に至るまでの一時的負荷を含む）を軽減するための手法や施策、市と提案事業者との役割分担を示すこと。	・システムの構築や運用・保守の各作業において、提案事業者と担当職員の役割分担が明確になっているか ・構築期間の担当職員の負担軽減をはじめとして各システム利用者の負担を軽減するために有効な手法が示されているか	50
		7	デザイン 視認性・信頼性・性能・使用性・効率性に資する項目について示すこと。	・システムのデザインが本市にもたらす効果と、その根拠が具体的に記載されているか。 ・閲覧者にとって見やすく使いやすい機能的なデザインか。 ・アクセシビリティへの配慮は十分か ・マルチデバイスへの対応は十分か	40
		8	セキュリティ セキュリティ確保の考え方・具体的手法（セキュリティを確保するために導入する製品や機能等）を、以下の点を中心に記載すること。 ・システムアクセス時のユーザー権限管理方法 ・インターネットからの不正なアクセス、攻撃に対する防止方法 ・日々変化するWebサービスに対する脆弱性、脅威に対するセキュリティ管理方針 ・バックアップ・リカバリを効率的に実施する方法 ・安定稼働を実現するための仕組み	・左記に示す考え方や具体的手法が本市にもたらす効果と、その根拠が具体的に記載されているか。	40
		9	サポート体制 本業務における、調達仕様書に示すマニュアル作成や研修、その他サポート体制の要件を踏まえて提案すること。	・調達仕様書に示すマニュアル作成や研修を実施する提案になっているか ・効果的・効率的な内容となっているか ・担当職員の負担を軽減するために有効なサポート内容が示されているか	40
		10	保守 システム保守の留意事項に配慮した提案を記載すること。	・安定的なシステムの運営が可能な体制が整えられているか ・障害発生時等のシステム復旧方法が提示されているか ・軽微な機能追加、改良に対して、柔軟な対応が可能かどうか。	40
	実施体制及び実績	11	管理体制 本業務の実施体制として、人員配置、業務管理体制（品質管理、進捗管理、問題把握等）等を示すこと。	・本プロジェクト実行に必要な十分な要員配置、管理体制となっているか	40
		12	類似実績 令和2年度以降に構築を完了した他自治体における学校開放を対象とした予約管理システム構築・保守業務のうち、本市の現状や課題と最も類似していると考えられる1件を挙げ、類似ポイントを明示したうえで、類似業務で培ったノウハウがどのように本業務で活用できるかを示すこと。 （元請けに限らない。また、参加表明の際に提示した「類似業務実績調査【様式4】」に挙げた実績と同じ案件でも可とする。）	・当該構築や運用の実績が本業務の履行にあたり、確実に役立ちそうか。 ・類似業務で培ったノウハウがどのように本業務で活用できるか具体的に示しているか。	100
		13	従事者スキル 本業務に従事するプロジェクト人員について、令和2年度以降に構築を完了した他自治体における学校開放を対象とした予約管理システム構築・保守業務にプロジェクトマネージャークラス又はプロジェクトリーダークラスとして従事した実績のうち、本市の現状や課題と最も類似していると考えられる1件を挙げ、類似ポイントを明示したうえで、類似業務で培ったノウハウがどのように本業務で活用できるかを示すこと。 （元請けに限らない。また、参加表明の際に提示した「業務従事者調査【様式5】」に挙げた実績と同じ案件でも可とする。） なお、プロジェクト人員については、具体的な担当者名を示すこと。	・当該構築や運用業務に従事した実績が本市業務の履行にあたり、確実に役立ちそうか。 ・実績で示した業務と本市の業務が類似しているポイントを明示し、類似業務で培ったノウハウがどのように本業務で活用できるか具体的に示しているか。	50
小計					750

機能要件で確認	システム機能要件の適合性	14	別紙「機能要件確認」に記載された機能・帳票について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	本市が定義する方法による	100
価格	見積金額	15	本業務を遂行するうえで必要となる全ての費用（システム開発費用及び保守運用費用等）の明細を記載すること。システム開発に関する費用に加え、契約締結から令和12年7月31日までの運用保守費用も含めること。	本市が定義する方法による	150
合計					250